

ゴーヘッドズ 速報

Goaheads

第34号 平成23年11月6日

守備が助けた本ゲーム・・・

	1	2	3	4	5	6	7	R
I	0	0	0	2	0	0	0	2
G	3	0	0	1	0	0	×	4

未だ投打のバランスが・・・



11/6(日)多摩スポーツセンター(旧西菅公園)に出向き、一撃とオープン戦を行った。今日は、昨日のゲームでの反省を踏まえ、役割において、テーマをもって、ゲームに望んだ。投手においては、四死球の数、打者においては、ゴロを打つ事。守備においては、連携を視野に入れる事の3つ。先攻は相手チーム、マウンドは昨日に続き達脇が上がりプレイボール、その注目の先頭打者へは、何とストレートの四球を与え出塁、まだボールは続き計6個をボールとし、4球目打たれた打球はセカンドへ、しかし、ここは落ち着いて4-6-3の併殺をゲットし、いきなり二死、後続は空三振に斬り、初回のマウンドを降りた。その裏の攻撃、先頭智の役割は、出塁と相手投手に球数を投げさせる事、しかし、初球を叩き、遊ゴロに、結果叩けた事により、彼の足が生き、内野安打で出塁、後続ポップフライで1死となったが、3番深沢が2球目を引き付け、右前に運び先制点を挙げた。後続は倒れたが、たかあきが2球目を左中間に2ランを放ち初回から3点を挙げ、ゲーム展開をリードする方向にした。2回には、三者連続三振に斬り、投手のテーマは、今日は良いかな?と思ったが、4回に、1安打と与四球3、犠飛で2点を与えてしまった。終わってみれば、先発は与四死球10という結果なので、先日のゲームよりも多い内容。打線においては、3回二死から深沢が右越に3塁打を放ったが、後続が倒れ残塁。4回にたかあきが2打席連続のホームランを放ったが、得点は、これのみ、よって、打線の繋がりをみる事も出来なかった。では何故勝利出来たのだろうか?相手投手の与四球は、最終回の1個だけであったが、こちらは10個、相手チーム失策は0だがうちは1、今日は長打と2個の併殺が勝利の要因であろう。2個の併殺は、野手の反応といつものは、勝手が間に合わない判断し、送球しない事が多いが、練習といういつもの声により、投げた事が2個の併殺を取れ、結果的に勝利に繋がったと思う。ただ、上位との対戦になると、今日のゲームでは、恐らく敗戦は間違いないであろう。打線は水ものだが、確実に叩く事。投手は、球の速さではなく、コーナーワークで勝負する事を心がけよう。最後に何故叩くか?当然の如く、取る・投げる・取るの3動作で何かが起きるからである。残りも少なくなってきたので、来期に繋げる為にも、これらを意識してゲームしよう。